

# 研究報告

2015/11/20 M2 厚田耕佑

## 実施内容

- ・パルス幅測定
- ・ファイバカップリング(入射側)

### (1)パルス幅測定

前回に引き続きパルス幅測定を行った。オートコリレーターに水平成分が最も強い光を入射させた。オシロスコープを用いて波形を見た。フィッティングの結果は、パルス幅 50~60fs になったが、オートコリレーターのモニターでは入口および出口の自己干渉波形の幅は、それぞれ 117fs および 135fs と表示されていた。これよりパルス幅は、それぞれ 83fs および 96fs となる。これはスペクトル波形から算出した 86fs に近い値である。

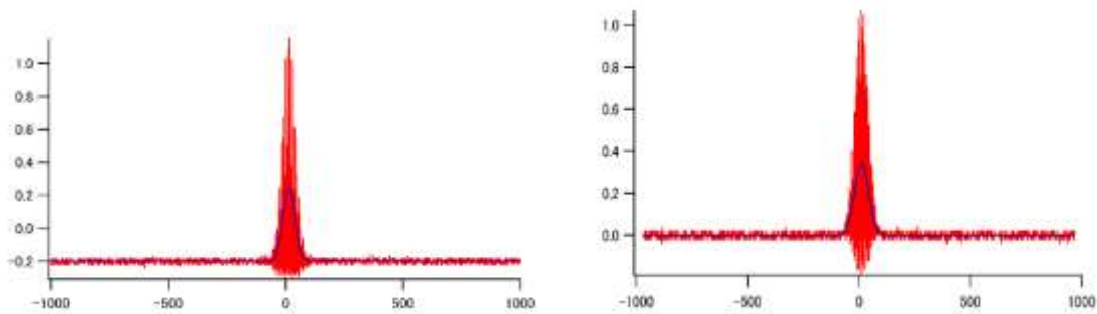


Fig.3 パルス波形(入射(左)および出射(右))

### (2)ファイバカップリング

現在、出口側のターミネータの納品待ち。  
パワーを向上させるため、入射側のアライメントを行ったが、出口側のパワーは 80.5mW(@250mW) で 32%と前回とほとんど変わらない結果であった。

### (3)アタッチメント

現在、考案中。

### 今後の予定@計画表

ファイバデリバリー：素線ターミネータによりプローブとカップリング。

